



PMI EMEA LIM参加報告

理事 片江有利

PMI EMEA LIM参加報告

1. PMI LIM概要

開催期間：2018年5月4日（金）～6日（日）

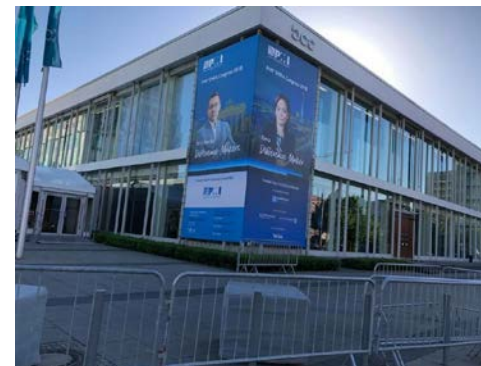
会場：ベルリン

参加者：ベルリンコンgresセンター

内容：①リーダー向けの講演

- ・PMI本部の戦略説明
- ・基調講演
- ・各支部のリーダーによる支部運営に資する事例発表

②ネットワーキング構築のためのイベント（休憩、ランチ、ディナーパーティ）



2. プログラム内容

（1）PMI本部のプレゼン

①LIMの概要説明 参加者 356名半数が初参加

参加支部 91支部

参加国 71か国

②PMI本部の現状 会員数 527,185名

PMPホルダー 853,281名

支部数 208国、292支部 + PMI Chapter

③会長Caterina La Tona 挨拶

- ・新任理事紹介
- ・3月にファウンダーのDr. J. Gordon Davisが逝去、生前のインタビューが放映
- ・本年は創立49年、来年は50周年 簡単に50年の振り返り
- ・今の課題はトランスフォーメーション、キーワードはチェンジ
(環境変化への対応、デジタル・デストラクションへの対応を重視、変えるべきことは変えて行く)
- ・PMIも戦略を変更し、アイデアを現実化させていく
勝つための三本柱として戦略的な焦点、顧客中心主義、組織の俊敏性に取り組む



④ Mark LangleyによるPMI Journey2.0の提起

- ・PMIがどのように成功するかを議論した
 - PMIの調査でも変化への対応が望まれている–ただし変化には痛みも伴う
 - ワールド・エコノミック・フォーラムに参加し、世界のリーダーにプロジェクトマネジメント、PMIの必要性を訴求した
 - ディスruptィブ・テクノロジーへの対応はスキルセットやリーダーのマインドセットも変化が求められる。PMIが考えるスキルセットの変化対応がタレントトライアングル
 - 組織、個人がどのようにスキルを習得するか
 - プロジェクトマネジメント・プロフェッションに提供すべき価値は、「個人が成功を掴み、組織が成果を出すこと」
- ・そのためには組織の変化に伴い、PMの役割も変化



Influencer Segments

- PMO Leaders , PM community Volunteers

Priority Segments

- PM Pros , Next-gen PMs

Secondary Segments

- Skill Builders , Ambitious PMs

- 具体的な内容は 6 P Journey to PMI 2.0 Workshop

を参照



(2) 基調講演はリーダーシップ、ものの見方に関する講演

① Sahar Hashemi – Coffee Republic創業物語とリーダーシップ

Sahar Hashemiは、英国の“Coffee Republic”の創業者であり、成功物語から教訓を提供しました。顧客満足に素早く対応するための経営のAgility＝ディジジョンを臨機応変に対応させた事例、(例) 徹底したパーソナル対応のための従業員教育等。

「特別な」人々だけが成功したビジネスを始めるという神話を否定し、ビジネス開始から順を追ってのイベントを通じて、組織のリーダーのマインドセット、組織運営のヒント、アドバイスを解説した。



② Beau Lotto – ものの見方を変えることがイノベーションを起こす

ボー・ロットはロンドン大学で教える神経科学者。「同じドレスが、見る人によっては青く見え、別の人には白く見える」という現象から、自分と他人でももの見方や感じ方、考え方などが違うことを脳の働きから解説する。様々な事例を投影し、「過去においてもっとも役に立った解釈」を現実世界では選び取ることで脳は進化してきており、リーダーとして重要なことは、自分のこれまでの「ものの見方」を意図的に変え、あえて「普通」でない選択をし続けることを勧める。その蓄積により、いつかまったく新しい知覚を手に入れて、たとえばiPhoneのような、時代を変えるイノベーションを起こすことができるということです。

(3) EDUCATIONAL SESSIONS

ミッション委担当としてビジネスプランに関するセッションを選択

① Strategies for Onboarding: How to Accelerate through the Transition Process

どのように新しいリーダーに役割を認識させるか、PMI本部が用意しているツールの解説と活用法を説明。－ Chapter Leader Orientation 2017年ローンチ、2日間のセッションその後グループワークでどのようにリーダーに役割を認識させるかを討議。日本のリーダーズミーティングにアクティブメンバーが参加して、中計を共有し、各員会や研究会リーダーとして研鑽を積むシステムを披露したら驚かれた。他支部はメンバー規模が300～500名のため、特定の候補を指名し、ファイナンス→VP→Pといったキャリアアップをさせる方法等。

② Journey to PMI 2.0 Workshop

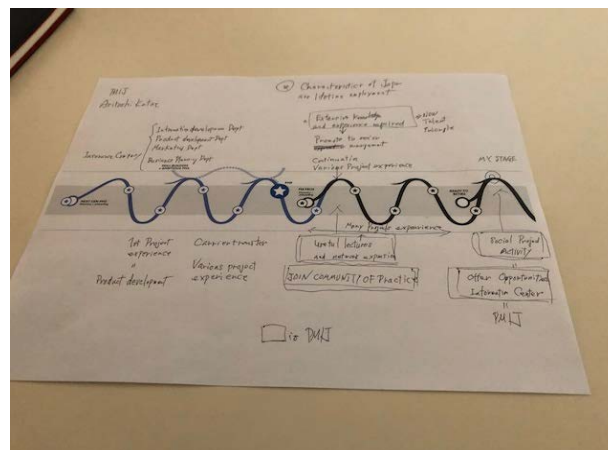
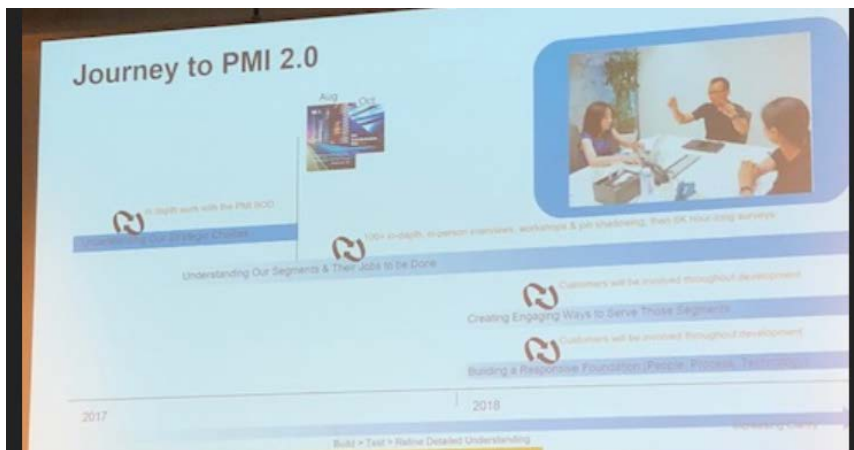
PMI本部の戦略で説明した内容を再説明。成長継続のためにビジネスの現実に適応を。

(背景) ・デモグラフィックスの変化への対応 新しいメンバーモデルの構築

- ・1：1の資格制度では現実に対応できない
- ・カスタマーの経験やテクノロジーの進展への対応

これに対し、ヨーロッパの支部からはIPMAとの競合団体との競争の観点から、PMI本部＝米国の話で実態に合っていない。製造業や他の産業には当てはまらない。もっと組織として訴求できる価値の提供が必要との反論が出された。また米国の支部からもビジネスアナリシス、スクラムマスター、テスト工学等スキルセットを変える必要性が提起された。

- PMI本部のJourney to PMI 2.0 の工程
 2017 Understanding Our Strategic Choices
 2017～ Understanding Our Segments & The Jobs to be Done
 2017～ Build Test Refine Detailed Understanding Increasing Clarity
 2018 Creating Engaging Ways to Serve Those Segments
 2018 Building a Responsive Foundation(People, Process, Technology)
 ということで2018年はPriority SegmentsであるPM Pros , Next-gen PMsに向けた
 Moving from Strategy Development to Strategy Executionをテスト中。
 成果がでたらリリースする。
- ワークショップとして参加者各人のPMキャリア形成図を作成し、PMIへ提出。



③ Developing Skills and Performance : A Case Study by the PMI Northern Italy
ボランティアメンバーのスキル向上のため、Webinarを他支部と共同で開催する他、9月から12月まで毎月1回土曜日に7時間のセミナーを継続開催した内容紹介。

④ Chapters, Core Values and Culture

Volunteers Management Visionとして、支部のカルチャーは地域、風土によって様々。PMIのコアバリューは普遍の価値を提供。その後PMI- NIC VMC Requirements による様々な取り組みを紹介。

グループワークで、何故ボランティア活動に参加するか、どのようにしてメンバーを捕捉するかを議論し、それを踏まえケーススタディに取り組み発表、意見交換を行った。



⑤ Technology Services For Your Chapter

支部のリーダーをサポートする ツールを実際の画面を見ながら使用法が解説された。

- Directory-Community Leadership Site
- Volunteer Resource Center(VRC)
- Component Systems(CS)
- Chapter Reporting System(CRS)
- Survey Monkey
- Projectmanagement.com

これらのツールの活用も、小さな支部では資金もリソースもない中で、誰がやるのか？
そこをサポートすべきとの意見が多く出された。

⑥ Agile Development of Cross-Chapters' Projects, by PMP Study Group

フィンランド、ポーランド等ヨーロッパのメンバーが2016年のLIMで出会いグループを結成し、支部の垣根を越えてファシリテーションの教材をWebinarで提供。現在は50名～150名が参加。そのプロジェクトの取組を紹介。コスト捻出のためにスポンサーを募り、コンテンツはメンバーが分担して作成する等等して、メンバーの参加費を抑える工夫をしている。

⑥ Leveraging Academic Institutions to Build the pipeline of Entry-Level Practitioners

南アフリカ、オランダ、フランスの各支部での大学生や大学院生向けの取組を紹介。
共通するマーケティング手法は、

- ・チャンピオン大学から仕掛ける—いくつかのイベントをキャンパスで仕掛ける
プロジェクトマネジメントやソフトスキル習得
- ・大企業を巻き込んでコネクションづくりをサポートする
CAPMが就職の武器となる

これらの取組をボランティアが支援し、学生ネットワークと連携する

⑦ using Fish

シアトルの魚市場生まれた活気あるチーム作りのマネジメント手法を使ったワークショップ。要は楽しくやること。個人がハッピーなら組織の生産性も高まるという哲学のもと、遊び心を持つ、ポジティブな態度を選ぶ、しっかりと相手に注意を向ける、相手を楽しませるという4つのマインドを実践するためのケースをグループワークで実践した。

